今八重沢パルプ工場では不景気を口実に先月二十九日より工場閉鎖をしたが、三十幾人と云ふ職工がゐてこそ組合に加入してゐた為にすぐ争議団を結成して戦ふ事が出来たのだ。そして若し要求が入れられなければ自分達で工場をそのまゝ引次いで仕事を始めると云ふ意気込みだ。労働者だけで工場を管理すると云ふことは日本では最も新らしい労働者の要求だ。今争議団ではこの要求を通するまで決死的に戦斗してゐる。八重沢争議団の勝利は同じ労働者仲間の勝利だ。当時の争議批判演説会によつて附近工場の労働者から絶大なる応援と支持をうけてゐる。我が東京一般労働組合はどんな小さな工場でも、どんな職業の労働者でもマジメな人達なら入会を歓迎する。未だ労働組合に入つてゐない人は悪辣な資本家に備へる為に直ちに労働組合に加入せよ!。

団結は労働者の唯一の武器だ!。

四月十三日

全国労働組合自由聯合会加盟
東京一般労働組合、城南支部
府下目黒町下目黒二二八

別記 三、

立正中学生諸君に訴ふ

立正の学生諸君!!

諸君の学ぶ学校の二年生に八重沢政弘といふ学生があるだらう。その親父の八重沢仙松は麻布古川にパルプコックの製造工場を経営して労働者を四十人程使つてゐた。今まで彼仙松は自分の工場に働きし労働者をキカイか何かの様に思つてコキ使つてウンと金をモウケて来た。

そして自分は家に来る女中を片ッパシから手を付けてハラましたり、それにもあきたらず今は五反田に二万円位の金を出して妾に芸者屋をやらしてゐる。又競馬に夢中になつて金をバラ撒いてあらゆる道楽をしてゐながら金がなくて工場をやつて行けなくなつたとかどうとかゆう口実の下にマジメにおとなしく働らいてゐる労働者を三月二十九日に十五人首切つた。

諸君!! 諸君も新聞紙に依つて御存知の事だらう日本には今五十幾万人の人々が働かうとして働く処がないので御飯も口々に喰べられずに困つてゐる。

政弘の親父はこうした失業者の中へ自分の為で十年も十五年もマジメに働らいて今の財産を作つてやつた人達を百円か二百円の目クサレ金でタタき出そうとしてゐるのだ。その政弘の祖父(現在政弘の居る家)三万円近くの金で荏原町中延に御殿の様な家を建てて住んでゐるし、家作の六十何軒も持ちながらどうして金がないと云ふ事が出来ようか!